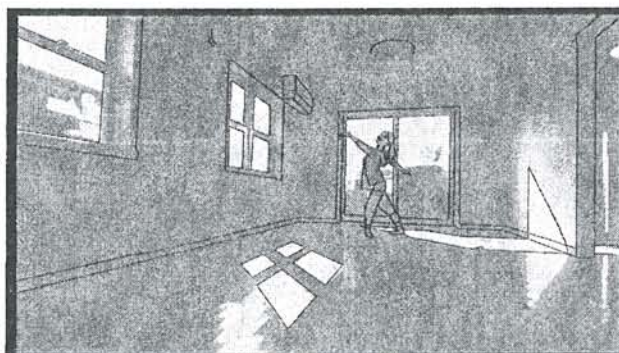


まちと 記憶と 映画館 ～岩井俊二編～
花とアリスのもうひとつの物語



(C)花とアリス殺人事件製作委員会

と き 6月6日(土) - 7月12日(日)
絵コンテ展示 10時～17時(入館受付16時30分まで) 月曜休館
※但し、映画上映日は20時まで開館

ところ 塩竈市杉村惇美術館 企画展示室1・2

観覧料 特別企画展＋常設展セット
一般500円 大学生・高校生400円 中学生以下無料
団体(20人以上):一般400円 大学生・高校生320円 中学生以下無料

大講堂が塩竈市公民館本町分室に誕生した昭和30年代は映画全盛期とも言われ、市内には6軒もの映画館がありました。テレビやインターネット等が普及する前の時代背景から、映画館は文化的な刺激や団らんを味わう貴重な場でした。

「まちと 記憶と 映画館」は、このまちの昭和30年代の記憶をあつめながら、当時の映画館のような文化的な団らんの場をつくるプログラムです。高さ9.7mアーチ型天井の広々とした大講堂で娯楽や文化を満喫する時間を、まちの新たな記憶としてつくっていきます。

第一弾では、当時、塩竈パール映画劇場にて映画館体験を楽しんだ映画監督・岩井俊二氏を迎え、映画館の記憶を人々と分かち合い、また岩井俊二監督の映画上映や絵コンテなどを展示します。

問い合わせ：塩竈市杉村惇美術館
☎ 022-362-2555